

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【公開番号】特開2012-208263(P2012-208263A)

【公開日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2012-044

【出願番号】特願2011-73076(P2011-73076)

【国際特許分類】

G 09 F	9/30	(2006.01)
G 09 G	3/30	(2006.01)
G 09 G	3/20	(2006.01)
H 01 L	27/32	(2006.01)
G 09 F	9/00	(2006.01)
H 01 L	51/50	(2006.01)

【F I】

G 09 F	9/30	3 3 8
G 09 G	3/30	H
G 09 G	3/20	6 8 0 H
G 09 G	3/20	6 9 1 D
G 09 F	9/30	3 6 5 Z
G 09 F	9/30	3 3 0 Z
G 09 F	9/00	3 6 6 A
H 05 B	33/14	A

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月14日(2014.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

行列状に配置された複数の表示画素を備え、

各表示画素は、有機EL素子と、前記有機EL素子を駆動する画素回路とを有し、

前記有機EL素子は、前記画素回路に接続された第1電極、発光層および第2電極を積層して構成され、

前記第2電極は、行方向または列方向に配列された複数の有機EL素子で共有された帯状電極である

表示パネル。

【請求項2】

前記表示画素上に、前記第2電極と交差する方向に延在する複数の検知電極を備えた請求項1に記載の表示パネル。

【請求項3】

表示パネルと、

前記表示パネルを駆動する駆動回路とを備え、

前記表示パネルは、行列状に配置された複数の表示画素を有し、

各表示画素は、有機EL素子と、前記有機EL素子を駆動する画素回路とを有し、

前記有機 E L 素子は、前記画素回路に接続された第 1 電極、発光層および第 2 電極を積層して構成され、

前記第 2 電極は、行方向または列方向に配列された複数の有機 E L 素子で共有された帯状電極である

表示装置。

【請求項 4】

前記駆動回路は、前記帯状電極を流れる電流の変化に基づいて物体の接触位置を検出する接触位置検出回路を有する

請求項 3 に記載の表示装置。

【請求項 5】

前記接触位置検出回路は、

前記帯状電極を流れる電流を検出する電流検出部と、

映像信号に基づいて非接触時の電流を導出する電流計算部と、

前記電流検出部で検出された電流の値と、前記電流計算部で導出された電流の値とから接触位置情報を導出する接触位置計算部と

を有する

請求項 4 に記載の表示装置。

【請求項 6】

前記画素回路は、保持容量と、映像信号に対応する電圧を前記保持容量に書き込む第 1 トランジスタと、前記保持容量の電圧に基づいて前記有機 E L 素子を駆動する第 2 トランジスタとを有し、

前記第 1 トランジスタは、外光の入射する位置に配置されている

請求項 3 ないし請求項 5 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 7】

前記表示パネルは、前記画素回路へ入射する外光を遮る遮光層を有する

請求項 3 ないし請求項 6 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 8】

前記表示パネルは、前記帯状電極と交差する方向に延在する複数の検出電極を有し、

前記駆動回路は、複数の帯状電極を消光期間中に順次走査する

請求項 3 ないし請求項 7 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 9】

表示装置を備え、

前記表示装置は、

表示パネルと、

前記表示パネルを駆動する駆動回路と

を有し、

前記表示パネルは、行列状に配置された複数の表示画素を有し、

各表示画素は、有機 E L 素子と、前記有機 E L 素子を駆動する画素回路とを有し、

前記有機 E L 素子は、前記画素回路に接続された第 1 電極、発光層および第 2 電極を積層して構成され、

前記第 2 電極は、行方向または列方向に配列された複数の有機 E L 素子で共有された帯状電極である

電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

図 2 は、表示パネル 1 0 の内部構成の一例を表したものである。表示パネル 1 0 は、例

えば、図2に示したように、複数の表示画素14が2次元配置された表示領域10Aを有している。表示パネル10は、外部から入力された映像信号20Aに基づく画像を、各表示画素14をアクティブマトリクス駆動することにより表示するものである。各表示画素14は、赤色用のサブピクセル13Rと、緑色用のサブピクセル13Gと、青色用のサブピクセル13Bとを含んでいる。なお、以下では、サブピクセル13R, 13G, 13Bの総称としてサブピクセル13を用いるものとする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

表示部30は、例えば、図4に示したように、画素回路12およびその近傍において、基板31上に、画素回路12、絶縁層32、絶縁層33および絶縁層34をこの順に積層した構成となっている。絶縁層33は開口33Aを有しており、開口33Aに有機EL素子11が設けられている。有機EL素子11は、例えば、図4に示したように、アノード電極35、有機層36およびカソード線CTLを開口33Aの底面側から順に積層して構成されている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図4】

